

NEW!

ER/ICUにおける

プラクティカル
看護セミナー

薬の選び方・使い方とその根拠

— 病態ごとの使い方と注意点がわかる —

到達目標

- 事例を通して、病態に対する薬の選択の根拠がわかる!
- 薬の機序を理解することによって、患者に及ぼす影響がわかる!
- 患者観察のポイント、副作用対策がわかる!



受講
対象者

- ・5年目までのナース
- ・後輩に指導するナース

開催日時
2025年2月16日(日)
10:00~16:00

会場 飯田橋レインボービル (東京)

定員 120人

受講料 18,000円

(カラーテキスト代・昼食・消費税込み)

お得な
グループ割引制度があるよ
詳しくは裏面を
チェック!



講師 (代表) プロフィール



講師: 志賀 隆 先生

国際医療福祉大学 教授 救急医学

学歴: 千葉大学卒, ハーバード大学大学院卒
医学博士, 公衆衛生修士

経歴: 2001年 千葉大学医学部医学科卒業, 東京医療センター初期研修医, 沖米国海軍病院, 浦添総合病院救急部を経て, 2006年 米国ミネソタ州メイヨー・クリニック研修, 2009年 ハーバード大学マサチューセッツ総合病院指導医, 2011年より東京ベイ浦安市川医療センター救急科部長, 2017年7月より現職。

所属学会: 日本救急医学会救急科専門医・指導医, 米国救急医学会

編著書: 『ER・救急 999 の謎』 (MEDSI)
『考える ER- サムライ・プラクティス』 (シービーアール)
『実践シミュレーション教育』 (MEDSI)
『エラーを防ごう! 救急 M&M カンファレンス』 (Gakken)
『必勝! 気道管理術』 (秀潤社)
『ER・ICUの薬剤 121』 (メディカ出版)

講師からのメッセージ

「わかっているようで、結構クスリについてまだ不安がある! もう少しクスリのことをよく知りたい!」 そんなあなたにと思って、コースを準備しました! どうしても**複数領域の薬剤を、調整したり使用したりする**のが、**急性期の医療の特徴**です。薬剤を使用するとき、その**特性や副作用を理解**していると、自信をもってベッドサイドに臨むことができます。

本セミナーでは、循環・呼吸・神経・感染・痛み/中毒など、**急性期医療において最も頻度の高い薬剤**について、クスリが効果をあげる**メカニズム**や**実際のピットフォール**を理解できるように、経験ある複数の講師がわかりやすく解説をして参ります。ぜひご参加をご検討くださいませ。

プログラム (仮)

I. 循環器のクスリ

10:00~10:50

救急といえば循環器の薬がとても大切です。昇圧薬・降圧薬に抗不整脈など多くの種類があります。具体的な使用法について具体的な場面も踏まえて学びましょう。

- ・抗不整脈薬の選択の際のポイントとは?
- ・昇圧薬の実際の使い方
- ・降圧薬の使用の際のピットフォール 他

II. 呼吸器のクスリ

11:00~11:50

肺炎, 喘息, 気管挿管時など呼吸器は救急とは切っても切り離せません。治療の効果もすぐに見られるものも多いです。ナースが押さえておくべきポイントをぜひマスターしましょう。

- ・吸入薬は実際どう使う?
- ・ステロイドの使用のキホンは?
- ・鎮咳薬・去痰薬って何を選べばいいの?
- ・気管挿管時の薬剤のピットフォールは? 他

お昼休憩 11:50~12:50

III. 感染症のクスリ

12:50~13:40

人類の歴史は感染症との戦いです。細菌-真菌-ウイルスなど多岐にわたります。どうやってそれぞれのクスリが効くのか? も含めて学んでいきましょう。

- ・経静脈抗菌薬の選択と効果は?
- ・経口抗菌薬で大事なことは?
- ・抗ウイルス薬はどう選んだらいいの? 他

IV. 神経のクスリ

13:50~14:40

痙攣する患者さんの対応, 暴れる患者さんの対応など, 神経救急は問題がいっぱいです。また救急にはめまいの患者さんも来ます。どんな患者さんにどの薬剤を使うか考えましょう。

- ・安全な抗痙攣薬の使い方は? 患者観察のポイントは?
- ・ドキドキする場面で落ち着いて鎮静薬を使うには?
- ・必ず薬になる抗めまい薬の使い方?
- ・制吐薬で副作用? 安全に使うには?
- ・t-PA を落ち着いて開始するためにどうしたら? 他

V. 鎮痛薬・中毒のクスリ

14:50~15:40

救急では痛みでこまっている患者さんがたくさんきます。副作用に注意しつつ, 早く安全に痛み止めを使う方法を学びましょう。またこのセクションでは中毒で来る患者さんの代表的な解毒剤についてもご紹介します。

- ・解熱性鎮痛薬の使い方の極意は?
- ・静注鎮痛薬の容量はどうするの?
- ・よくある解毒剤の使い方って? 他

VI. 質疑応答

15:40~16:00

※セミナー内容は、当日の進行状況により一部変更になる場合がございます。



❖主催: 医学教育研究所 ❖後援: 総合医学社

※関係各位, 各科へご回覧願います。またこのリーフレットが不足する場合は、お問い合わせください。

グループ受講割引きがお得です！1名様 18,000円のところ…

3名以上…^{1名あたり}17,000円 5名以上…^{1名あたり}16,000円 10名以上…^{1名あたり}15,000円

10名のご参加だと、
合計30,000円お得!

理解度チェックリスト

Q1 敗血症における昇圧薬の使用の際に気をつけるのは？

- ・ドーパミン製剤を第一選択にする
- ・早期からステロイド薬と併用する
- ・ノルアドレナリンを第一選択にする
- ・中心静脈からのみ投与が可能である

Q2 心不全における降圧薬の使用の際に気をつけるのは？

- ・ベータ刺激薬との併用をする
- ・大動脈縮窄症があるかを確かめる
- ・迅速に降圧薬の容量を上げていく
- ・舌下のニトログリセリンと経静脈のニトログリセリンを併用する

Q3 筋弛緩薬であるロクロニウムを使用時に気をつけることは？

- ・腎機能障害があると使うことができない
- ・先に鎮静薬を投与することが必須である
- ・体重あたり1.2mg / kgの容量にて使用する
- ・スガマデックスが近くにないなら使用しない

Q4 メトクロプラミドを使用する際に気をつけるのは？

- ・妊婦に対して安全に使用できる
- ・静脈注射にて使うことがのぞましい
- ・副作用を考慮して抗ヒスタミン薬と併用する
- ・めまいの際には効果が薄いため使用しない

こちらの問題の答え
が不安な方は、
本セミナーの受講を
お勧めします！



お申し込み方法 1 ホームページ, 2 FAX, 3 郵送, 4 電話,

いずれの方法でもお申込み頂けます。

- 1 ホームページからのお申込みの場合は、右のQRコードにアクセスして下さい。もしくは医学教育研究所のホームページにアクセスし、本セミナーの詳細ページを開いて決済ページもしくはお申し込みフォームに進んで下さい。



- 2 FAX, 3 郵送の場合は、「参加申込書」に必要事項をご記入の上お送り下さい。弊社到着後3営業日以内に折り返し電子請求書を送信させていただきます。請求書に記載された期日までにご入金のお手続きをお進め下さい。

※参加申込書は、ホームページからダウンロードすることも可能です。
※クレジットカードでのお支払いは下記に対応しております(決済手数料は弊社負担)。



※銀行振込の場合の手数料は、お客様ご負担となります。

お一人
受講料：18,000円 (カラーテキスト代・昼食代・消費税込み)
お申込み締切：2月10日(月) 予定
最少催行人数：50人

※お申込み状況によっては、予定よりも早く申込みを締め切る場合があります。
※開催1ヵ月前までに申込みが50名に達しない場合には、中止する場合がございますので、ご了承ください。

医学教育研究所主催
「プラクティカル看護セミナー」の開催状況などについて
お知らせします。 https://x.com/igaku_kyoiku



●受講証の受取～当日

- 弊社でお申込み・ご入金を確認できましたら、1週間程度で受講証および会場アクセスなどを記した書類をお送りいたします(グループでご参加の場合は代表者にのみお送りします)。
- 開催当日はセミナーの開始時間までに会場へお出で下さい。
※直前のお申込みなどで、やむを得ず開催日までにご入金がお済みにならない場合は、2月14日(金)の17時までに必ずご一報下さい。

●キャンセルについて

キャンセルをする場合は、必ず弊社にご一報下さい。なお、キャンセル料金は下記のとおりです。事前のご連絡がなく当日欠席された場合は、受講料の全額をご請求させていただきます。

キャンセルのご連絡を頂いた日	～2月10日(月)	2月11日(火)～前日まで	当日
キャンセル料金	無料	5,000円	全額

※クレジットカードでお支払い頂いていた場合は、キャンセル料金を差し引いた額をカード口座に返金させていただきます(手数料なし)。払い戻し処理には通常7～10営業日かかります。なお各カード発行会社の支払い締日をまたがった処理になった場合は、翌月の利用明細上での払い戻しになりますのでご了承ください。

※銀行振込でお支払い頂いていた場合は、キャンセル料金を差し引いた額を指定の口座に返金させていただきます。その際の振込手数料はご負担頂きます。

※キャンセル料発生以降、お客様のご都合によってキャンセルされた場合、いかなる理由があってもキャンセル料のお支払いをお願いしております。あらかじめご了承ください。

※事前決済を利用していない場合は、予約時に記入したメールアドレスや住所宛に請求書を送付させていただきますのでご了承ください。

主催：医学教育研究所

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 1-1-4

E-mail igaku-kyoiku@sogo-igaku.co.jp

お申し込み、お問い合わせ先 医学教育研究所 看護セミナー受付係

FAX: 03 (3219) 0410

電話: 03 (3219) 2064
※電話受付: 月曜～金曜(祝日を除く) 9:00～17:00

参加申込書「薬の選び方・使い方とその根拠」(24K)

フリガナ	ご参加人数：	受講証等の送付先： 自宅 / 勤務先 (○をお付け下さい)
お名前： (代表者)	人	送付先宛名 (郵便番号)
TEL： ()		〒 - 都・道 府・県 市・区 村・町
E-Mail：		(町名・丁目・番地・号)
		(施設名・病棟など) *ご自宅の場合は、マンション・アパート名・部屋番号までご記入下さい